



松戸市の主な公園の紹介

都市公園と地域の魅力向上に向けた
マーケットサウンディング調査

松戸市役所 公園緑地課

**松戸市内の主な公園を
紹介します！**



東松戸ゆいの花公園 & 東松戸中央公園 (松戸市東松戸1-17-1) (松戸市東松戸1-11-2)

○公園周辺の状況

- ・JR武蔵野線、北総鉄道の東松戸駅から徒歩約8分
- ・東松戸中央公園には駐車場あり(約40台)
- ・東松戸駅周辺にはマンション、戸建住宅も多い住宅街となっている
- ・図書館、東部支所、青少年プラザからなる複合施設「ひがまつテラス」が令和3年12月東松戸駅東側にオープン予定

○公園の状況

【東松戸ゆいの花公園】

- ・平成19年に開園した特殊公園(植物園・10,010㎡)
- ・季節ごとに多様な花と緑を楽しめる
- ・管理センター(マгноリアハウス)があり、花に関する講座を開催している。

【東松戸中央公園】

- ・区画整理事業により整備され、平成21年に開園した近隣公園(14,334㎡)
- ・毎年東松戸まつりの会場として利用され、賑わいを生んでいる。
- ・主な公園施設：広場(芝生、ダスト)、パーゴラ、ベンチ、トイレ、健康遊具
遊具広場(砂場、ブランコ、複合遊具)



位置図
出展：国土地理院地図

○現況写真(上段：東松戸ゆいの花公園 下段：東松戸中央公園)



金ヶ作公園(松戸市常盤平3-27-1)

○公園周辺の状況

- ・新京成電鉄常盤平駅から徒歩約10分
- ・常盤平団地の中央に位置しており、常盤平地域の中心
- ・常盤平団地を囲むように住宅街が広がっている
- ・常盤平第一小学校、第二小学校の他、幼稚園やこども園など多いエリア
- ・松戸市役所常盤平支所が隣接している

○公園の状況

- ・昭和30年代の区画整理事業により整備された地区公園(40,469㎡)
- ・軟式野球ができる広場の他、テニスコート(スポーツ課管理)もあり、利用方法は多種多様
- ・平成27年に再整備(リニューアル)し、出入口や園路のバリアフリー化、トイレの建て替え、遊具エリアの更新などを行っている
- ・主な公園施設：グラウンド、ダスト広場、テニスコート、トイレ、健康遊具、遊具広場(砂場、ブランコ、すべり台、ジャングルジム、ムービング遊具、複合遊具)

○現況写真



出展：国土地理院地図

グラウンド



ダスト広場



テニスコート



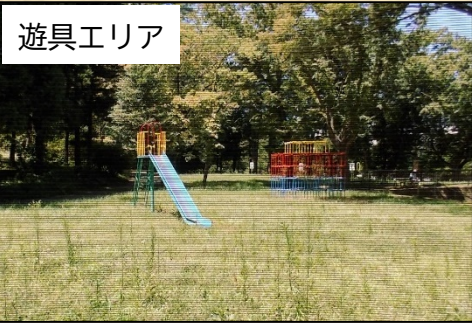
トイレ



遊具エリア



遊具エリア



健康遊具



園路



常盤平公園(松戸市常盤平松葉町1-1)

○公園周辺の状況

- ・JR武蔵野線の新八柱駅、新京成電鉄の八柱駅から徒歩約10分
- ・新京成電鉄の常盤平駅から徒歩約15分
- ・公園の隣に常盤平体育館がある
- ・近隣は戸建住宅が多い住宅街となっている

○公園の状況

- ・昭和40年代の区画整理事業により整備された近隣公園(10,562㎡)
- ・公園内は高低差があり、上の段は遊具エリア、下の段は軟式野球も可能な広場となっている
- ・広場は軟式野球の他、グラウンドゴルフなどで多く利用されている
- ・主な公園施設：広場、ベンチ、トイレ、遊具広場(砂場、ブランコ、すべり台、ジャングルジム)、健康遊具

○現況写真

広場



遊具エリア



健康遊具



トイレ



位置図

出展：国土地理院地図

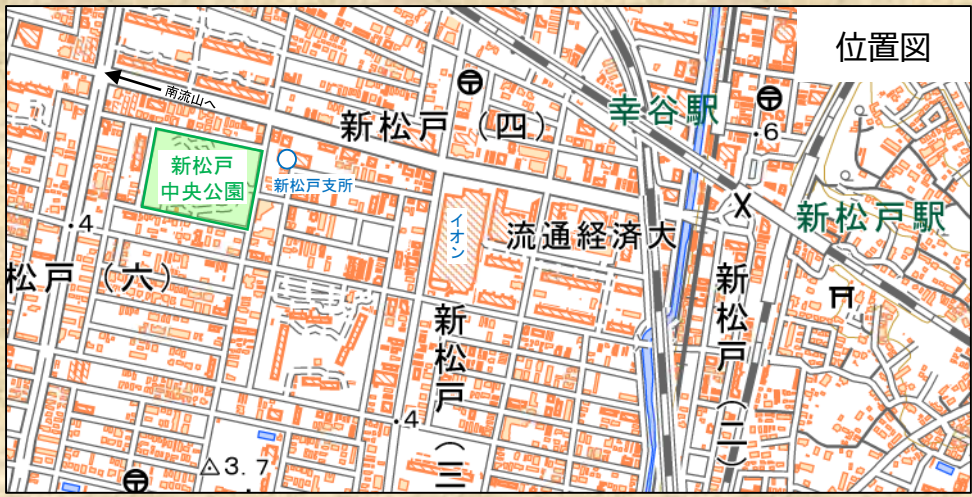
新松戸中央公園(松戸市新松戸6-22)

○公園周辺の状況

- ・JR常磐線・武蔵野線の新松戸駅、流山電鉄の幸谷駅から徒歩約12分
- ・新松戸駅から西に伸びるけやき通りは南流山方面に繋がっている。
- ・近隣には大規模マンション、戸建住宅も多い住宅街となっている
- ・他、流通経済大学も所在している。
- ・松戸市役所新松戸支所が公園に隣接している。

○公園の状況

- ・昭和40年代の区画整理事業により整備された近隣公園(19,429㎡)
- ・毎年新松戸まつりの会場として利用され、賑わいを生んでいる。
- ・主な公園施設：広場(大小)、四阿^{あずまや}、ベンチ、トイレ、遊具広場(砂場、ブランコ、すべり台、土管、チェーンネットクライム)、健康遊具



出展：国土地理院地図

○その他

- ・新松戸地域の核となる公園として、再整備(リニューアル)を予定している。
- ・令和3年度に地域住民参加のワークショップを開催し、地域の皆さんと共に再整備計画を作成する予定

○現況写真



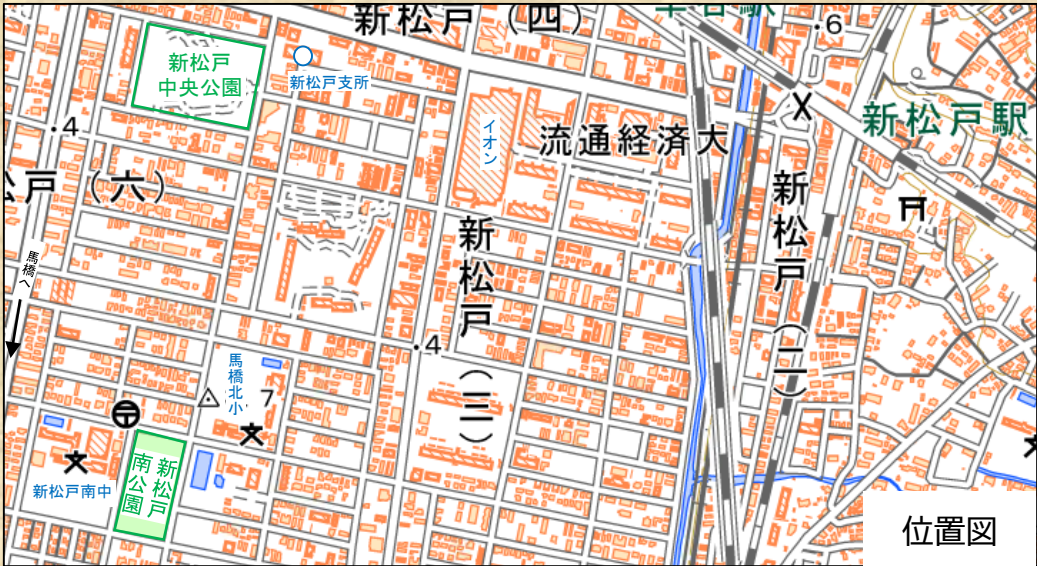
新松戸南公園(松戸市新松戸南2-9)

○公園周辺の状況

- ・JR常磐線・武蔵野線の新松戸駅、流山電鉄の幸谷駅から徒歩約20分
- ・新松戸中央公園の南側約600mに位置
- ・新松戸中央公園よりも戸建住宅が多いエリア
- ・馬橋北小学校、新松戸南中学校、青少年会館、新松戸プール等の教育施設、公共施設に囲まれている。

○公園の状況

- ・昭和50年代の区画整理事業により整備された近隣公園(10,027㎡)
- ・主な公園施設：広場(大小)、パーゴラ、ベンチ、トイレ、健康遊具、遊具広場(砂場、ブランコ、すべり台、ジャングルジム、鉄棒)



出展：国土地理院地図

○現況写真



横須賀中央公園(松戸市横須賀1-5-1)

○公園周辺の状況

- ・ JR常磐線・武蔵野線の新松戸駅、流山電鉄の幸谷駅から徒歩約20分、流山電鉄の小金城趾駅から徒歩約5分
- ・ 周辺は住宅が広がっている一方で、教育施設(小金中学校、小金高校)が近接している他、飲食店等の店舗が多いエリアである。

○公園の状況

- ・ 昭和50年代の区画整理事業により整備された近隣公園(11, 989㎡)
- ・ 広場は少年野球や少年サッカー、グラウンドゴルフなどで多く利用されている
- ・ 主な公園施設：広場(大小)、パーゴラ、四阿、ベンチ、トイレ、健康遊具、遊具広場(砂場、ブランコ、すべり台)

○現況写真

正面



遊具エリア



遊具エリア



広場(大)



広場(小)



トイレ



四阿



位置図

出展：国土地理院地図

六実中央公園(松戸市六高台3-142)

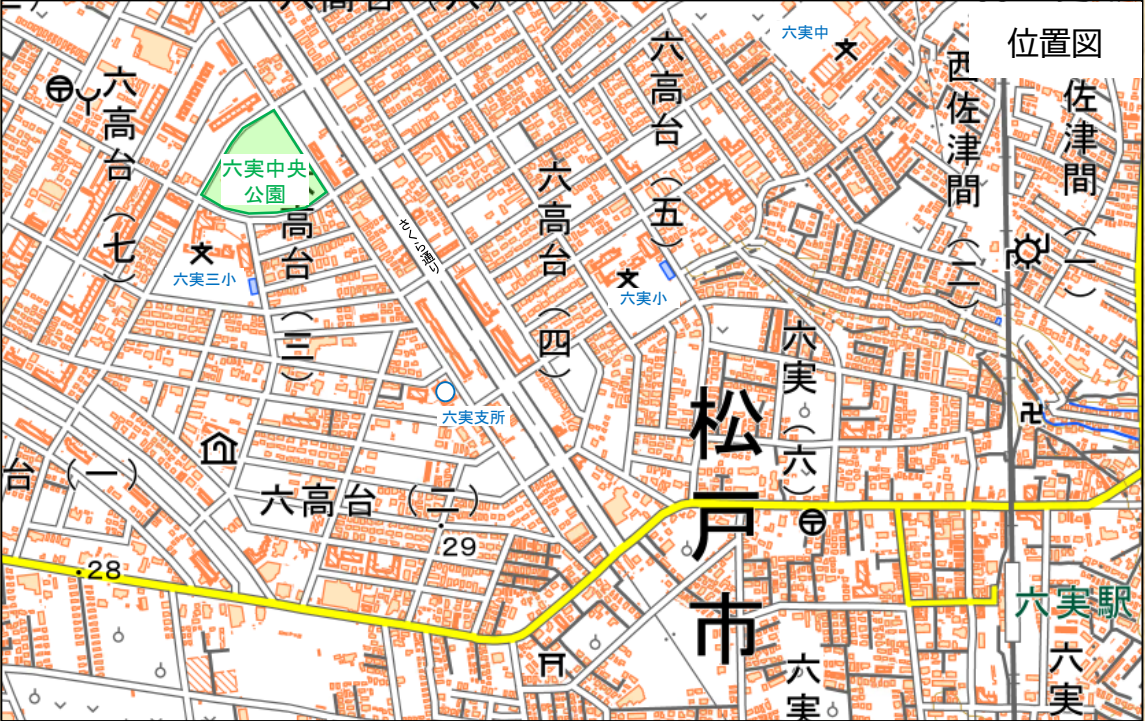
○公園周辺の状況

- ・東武アーバンパークラインの六実駅から徒歩約20分又はちばレインボーバス「六実支所」バス停下車徒歩約5分
- ・新京成電鉄の五香駅からちばレインボーバス「六実支所」バス停下車徒歩約5分
- ・近隣は住宅街で、戸建住宅のほかマンションも多い
- ・六実さくらまつりの会場となるさくら通りが近く、例年多くの人でにぎわっている(令和2年、3年は中止)

○公園の状況

- ・昭和40年代の区画整理事業により整備された近隣公園(16,075㎡)
- ・軟式野球ができる広場があり、野球のほかグラウンドゴルフなどで多くの方に利用されている。
- ・主な公園施設：広場、トイレ、ベンチ、花壇(地域住民管理)、遊具広場(砂場、ブランコ、すべり台、ジャングルジム)、健康遊具

○現況写真



出展：国土地理院地図



正面



遊具エリア



健康遊具



花壇



広場



広場



広場



トイレ

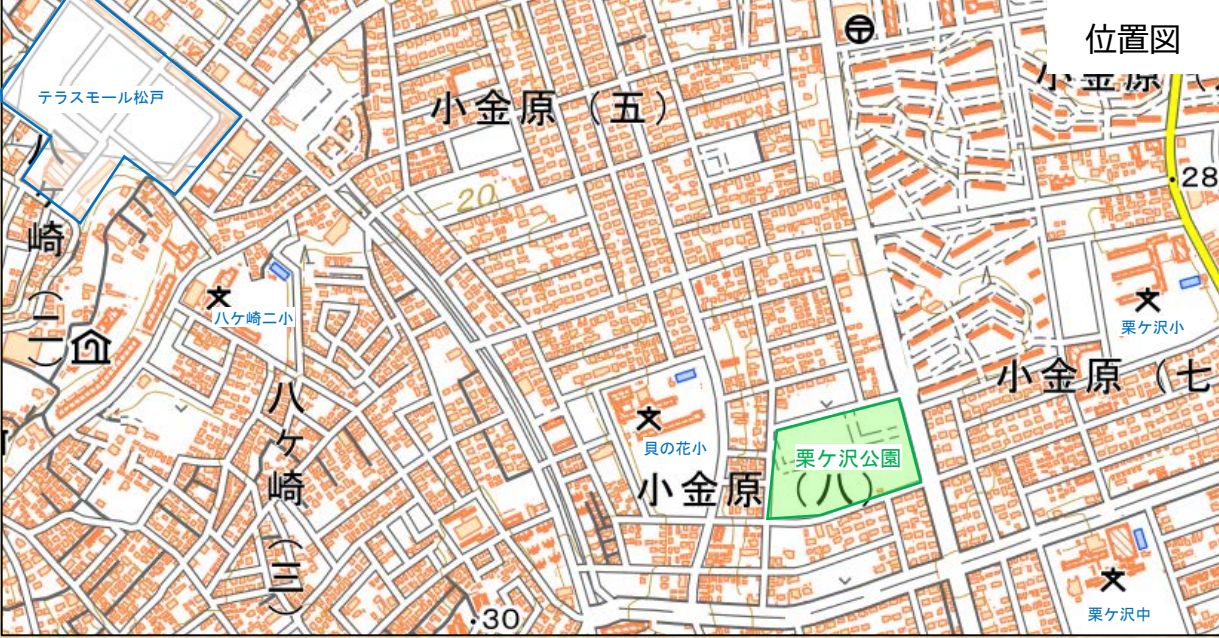
栗ヶ沢公園(松戸市小金原8-26)

○公園周辺の状況

- ・JR常磐線の北小金駅から新京成バス「栗ヶ沢テニスコート」バス停下車、新京成電鉄の八柱駅から新京成バス「東若芝」バス停下車
- ・近隣は戸建住宅が多い住宅街となっているほか、URの小金原団地がある
- ・徒歩約15分の場所にテラスモール松戸が令和元年(2019年)に開業

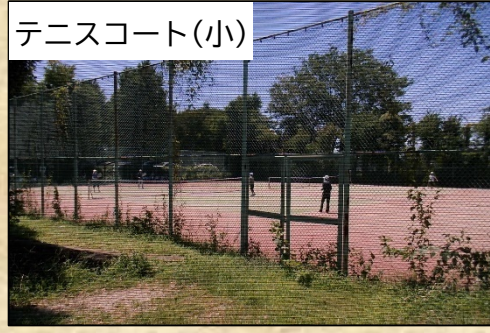
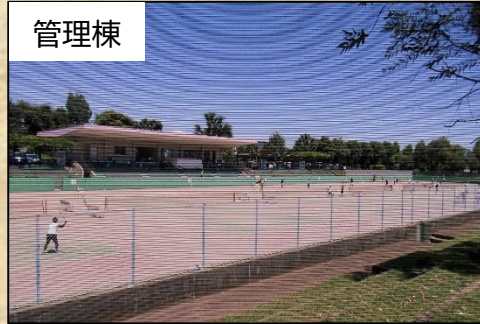
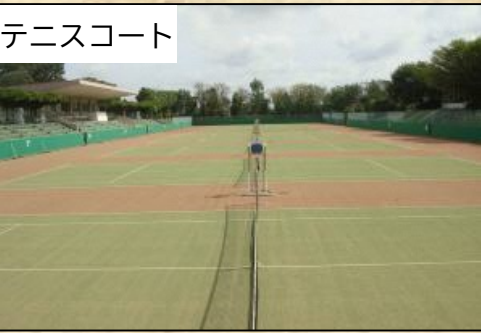
○公園の状況

- ・昭和40年代の区画整理事業により整備された近隣公園(22,810㎡)
- ・公園内の多くの面積をテニスコートが占めている
- ・テニスコートは昭和48年(1973年)の国体会場として使用された
- ・主な公園施設：テニスコート、管理棟、遊具広場(砂場、ブランコ、コンクリートウォール)



出展：国土地理院地図

○現況写真



松戸運動公園(松戸市上本郷4434)

○公園周辺の状況

- ・JR北松戸駅から徒歩約20分、新京成電鉄松戸新田駅から徒歩約15分
- ・JR北松戸駅から新京成バス「運動公園」バス停下車
- ・公園内駐車場のほか、近隣に臨時駐車場あり
- ・公園周辺は住宅街となっており、商業施設は少ないが、公園西方の旧市立病院跡地にショッピングセンターが開業予定
- ・寒風台小学校、第六中学校の他、専修大学松戸中学・高校、県立松戸高校がある

○公園の状況

- ・昭和40年代の区画整理事業により整備された運動公園(100,000㎡)
- ・道路と公園で高低差があり、南東側、南西側は斜面となっている
- ・野球場、陸上競技場、体育館、武道場、プール、相撲場と運動施設が多数ある(各運動施設はスポーツ課が管理)
- ・運動施設の他、遊具や健康遊具もあり、幅広く利用されている
- ・主な公園施設：野球場、陸上競技場、体育館、武道場、プール、相撲場、健康遊具、遊具広場(砂場、ブランコ、すべり台、鉄棒)

○現況写真

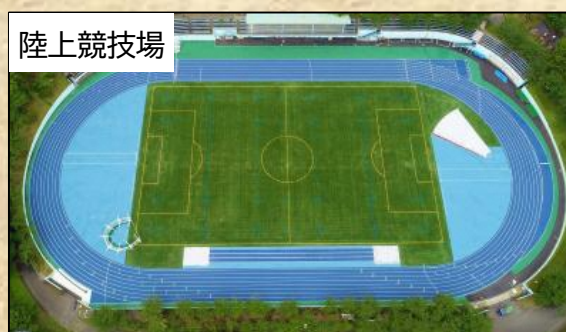


位置図
出展：国土地理院地図

野球場



陸上競技場



プール



相撲場



体育館(外観)



遊具エリア



健康遊具



駐車場



矢切の渡し公園(松戸市下矢切)

○公園周辺の状況

- ・「矢切ねぎ」の産地として有名な矢切地域にあり、公園周辺は良好な農地(矢切耕地)が広がっている
- ・土日祝日はJR松戸駅から「矢切の渡し」行き路線バスが運行
- ・堤防を越えた先に矢切の渡しの船着き場がある
- ・江戸川の対岸は映画「寅さん」の舞台として有名な柴又があり、矢切の渡しは年間約6万人に利用されている
- ・江戸川の堤防上部はサイクリングロードとなっている
- ・矢切地域は、伊藤左千夫の小説「野菊の墓」の舞台で、周辺の道路が「野菊のこみち」として散策路になっている

○公園の状況

- ・松戸駅周辺まちづくり構想に基づき、矢切観光拠点の一部として整備中の総合公園(計画面積20,469㎡)
- ・今後は、周辺の農家の方々などと連携した利活用により、矢切地域全体の振興に向けた取り組みを進める予定

○現況写真



出展：国土地理院地図

